

E-ラーニング式：基礎講座

法人向け生成AIリスキリング講座

カリキュラム

講座全体の目的

対象者：業務効率化に悩んでいる生成AI初心者の会社員

ゴール：日常業務で生成AIを効果的に活用できるスキルを習得し、業務の自動化や効率化を実現する。また、生成AIの使用に伴う倫理的な側面を理解し、安全に利用できるようになる。

構成：全10講座・各1時間～1時間半

総学習時間：12:33:34

基礎講座詳細カリキュラム

基礎講座1：生成AIの基礎知識と実務での適用例

内容：生成AIとは何か、基本的な概念を学び、どのように業務に適用されているかを具体例を通じて理解する。日常業務にどのように生成AIが役立つかを実感するためのケーススタディを紹介。

目標：生成AIの基礎を理解し、業務効率化にどのように役立つかを具体的にイメージできる。

課題：業務で使われている生成AIの事例を確認し、自分の業務にどのように適用できるか考える。

セクション	時間
生成AI基礎導入	0:22:33
生成AIの基礎	0:13:59
生成AIの実務適用事例	0:10:54
数字で見る生成AIの活用事例	0:10:03
日常の業務における適用の仕方	0:05:30
合計時間	1:02:59

基礎講座2：生成AIツールの導入と基本操作

内容：ChatGPTなどの生成AIツールを導入し、アカウント作成、基本操作、プロンプトの入力を学ぶ。簡単な業務タスクを実際にAIに実行させ、基本的な使い方を習得する。

目標：生成AIツールの基本操作を習得し、日常業務にスムーズに導入できるようにする。

課題：AIに業務に関する簡単な質問を行い、その応答を確認・改善する。

セクション	時間
生成AIツールの基本	0:05:58
生成AIツール使い方_ChatsGPT	0:41:48
Geminiの使い方	0:34:47
Claudeの使い方	0:25:14
各ツール比較	0:07:49
合計時間	1:55:36

基礎講座3：プロンプトエンジニアリングの基本 - 効果的な指示作成の基礎

内容：AIに正確な指示を与えるためのプロンプトエンジニアリングの基礎を学ぶ。シンプルなプロンプト作成を通じて、AIが意図した結果を生成できるようにする方法を学習。

目標：明確かつ簡潔なプロンプトを作成し、生成AIからの確かな結果を得るスキルを身につける。

課題：簡単な業務タスク（例：レポート作成、メール返信）のプロンプトを作成し、生成された結果を評価。

セクション	時間
プロンプトの基礎入門	0:22:10
効果的なプロンプト作成のコツ	0:11:32
プロンプトのパターンとノウハウ	0:30:10
実例で学ぶプロンプトの作成	0:09:29
合計時間	1:13:21

基礎講座4：プロンプトエンジニアリング応用 - 業務での高度な指示作成

内容：プロンプトエンジニアリングの応用編として、複数条件を含む業務タスクを生成AIに与える方法を学ぶ。プロンプトの改善を通じて、より精度の高い結果を得るための手法を学習。

目標：複雑なプロンプトを作成し、業務に適した生成AIの活用スキルを向上させる。

課題：複数条件を含む業務文書やデータ要約のプロンプトを作成し、その結果を改善。

セクション	時間
プロンプトの応用スキル習得プロセス	0:25:43
業務で役立つプロンプト例	0:28:14
知っておくと便利なプロンプト集	0:17:34
応用に役立つ思考法	0:11:33
合計時間	1:23:04

基礎講座5：生成AIを活用した文章生成と反復タスクの自動化

内容：生成AIを使った文章作成（例：メール返信、報告書作成）や反復的な業務タスクの自動化を学びます。特に、定型業務をAIに任せて効率化する方法を実践的に学びます。

目標：生成AIを活用して文章生成や定型業務を自動化し、業務効率を高める。

課題：定型業務を自動化するプロンプトを作成し、AIの生成結果を評価。

セクション	時間
メール作成	0:16:57
議事録作成	0:15:52
業務用書類の作成	0:13:16
文章の要約とタスクの作成	0:17:32
合計時間	1:03:37

基礎講座6：データ分析と要約の基本 - 業務レポート作成の自動化

内容：業務データをAIに分析・要約させる方法を学ぶ。生成AIが得意とする大量のデータから重要な要素を抽出し、ビジネスレポートを自動生成するプロセスを理解する。

目標：AIで業務データを分析・要約し、ビジネスレポートを自動で作成できるようになる。

課題：売上データや顧客データをAIに要約させ、簡易的なレポートを作成。

セクション	時間
分析に活用できるプロンプト	0:40:03
複雑なデータ処理の検証	0:14:38
分析結果のレポート作成	0:19:58
合計時間	1:14:39

基礎講座7：革新的なアイデア出しや企画案の作成

内容：ブレインストーミングやアイデア出しにAIを活用し、クリエイティブなプロジェクトや業務改善案を生成する方法を学ぶ。生成AIを使って、新しい視点やアイデアを効率的に引き出すスキルを身につけます。

目標：AIを活用して、新規プロジェクトや業務改善に役立つアイデアを創出する。

課題：生成AIを使ってアイデア出しを行い、業務改善案を生成して発表。

セクション	時間
アイデアや企画案作成の活用と深掘りの仕方	0:41:05
企画案便利なツールなど②	0:18:16
合計時間	0:59:21

基礎講座8：資料作成における生成AIの実務活用

内容：AIを使って、プレゼン資料やマーケティング資料に使用する画像やビジュアルを生成する方法を学びます。生成AIがクリエイティブな作業にどのように役立つかを実感しながら、業務に活用できるスキルを習得します。

目標：画像生成AIを活用して、プレゼンテーションやマーケティング用のビジュアルコンテンツを作成できる。

課題：生成AIを使ってテーマに沿った画像を作成し、業務での活用方法を検討。

セクション	時間
資料作成における生成AI活用までの流れ	0:16:38
生成AIを活用したコンテンツ作成_Gamma	0:18:59
生成AIを活用した視覚的要素の追加_Napkin AI	0:14:25
その他資料作成における参考になるプロンプト	0:15:54
合計時間	1:05:56

基礎講座9：生成AI活用における倫理とセキュリティの重要性

内容：生成AIを使用する際に考慮すべき倫理的課題（データプライバシー、著作権、バイアスなど）やセキュリティリスクについて学ぶ。業務で生成AIを適切に使用し、安全かつ倫理的に活用するための知識を深める。

目標：生成AIの倫理的・安全な活用方法を理解し、業務でのリスクを回避するスキルを習得する。

課題：自身の業務で発生しうる倫理的リスクを考え、それに対する対策を考えたガイドラインを作成する。

セクション	時間
生成AIにおける倫理の重要性	0:07:42
プライバシーとデータ保護	0:13:10
バイアスと公平性	0:09:46
透明性と説明可能性	0:06:25
著作権と知的財産権	0:09:15
セキュリティと悪用リスク	0:07:19
偽情報（ハルシネーション）	0:09:40
合計時間	1:03:17

基礎講座10：生成AI×業務効率化：実務応用のコツ

内容：生成AIを活用した業務効率化の成功事例を学び、自分の業務に適用できる方法を考えます。さらに、業務効率化に役立つ具体的なAIツールをいくつか紹介し、それらを実務にどのように活かすかを学習します。

目標：生成AIを活用した業務効率化の成功事例を学び、実際に自分の業務に活用するための具体的なプランを作成する。また、業務効率化に役立つAIツールを理解し、適切を選んで活用するスキルを身につける。

課題：業務改善プランを作成し、適切なAIツールを選び、その活用方法を考える。

セクション	時間
リサーチと情報収集_Perplexity	0:23:40
リサーチと情報収集_Felo AI	0:20:53
リサーチと情報収集_Genspark	0:07:51
情報の要約と整理_Genspark&NotebookLM	0:19:16
文章生成比較_天秤ai	0:07:45
プロンプト作成用ツール_promptia	0:05:54
簡単な業務効率化プランの作成	0:06:25
合計時間	1:31:44

紹介するAIツール一覧

Perplexity

リサーチツール

Felo AI

リサーチと情報収集ツール

Genspark

情報収集・要約ツール

NotebookLM

情報整理・要約ツール

天秤AI

文章生成比較ツール

Promptia

プロンプトリサーチサイト

Gamma

プレゼンテーション作成ツール

Napkin AI

視覚的要素生成ツール

まとめ

この生成AIリスキリング講座では、初心者が生成AIの基礎から実務への応用までをステップごとに学び、最終的には業務効率化を実現できるスキルを身につけることを目指しています。

重点学習項目

- プロンプトエンジニアリング（基礎・応用）
- 文章生成と自動化
- データ分析とレポート作成
- アイデア創出とブレインストーミング
- 資料作成とビジュアルコンテンツ生成
- 倫理・セキュリティ・安全な利用方法
- 実用的なAIツールの活用

特に、実践的な内容を提供し、AIの倫理的な利用についても理解を深めることで、安全かつ効果的に生成AIを活用できる環境を整えます。各講座は実際の業務シーンを想定した内容となっており、学習後すぐに実務に応用できる構成となっています。